

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

私はこの講演会を通して、改めて命の大切さを知りました。阪神淡路大震災では、今の私と同じくらいの子や大人の人など、生きていた人など大勢いたと思います。私は、この震災を実際に経験したことはないけど、この震災のことを絶対に忘れないう、亡くなった人々も、それぞれの人たちの記憶の中、私たちが伝えていくこの震災の中で生きてほしいです。私も震災で生きたくても生きられなかった人々のためにも、この震災の記憶を未来にまで語っていきたい。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

この講演会を通して、災害が起こるかくりは、

1%だけかもしれないのも、1%もあるんだから、

いつ起きても、せいぜいに、自分や、家族が、せいぜいに

ならないように、ひごろから、防災リュックなど、そなえて

おこう、と、感じました。 また、三好さんの「忘れない」という

言葉が、特に心に残っていて、この震災のことを、

私たちよりも、下の学年の子たちに、伝えつづけていこうと思いました

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

前から地震の事の大さは分かってはいたつもりだったけど、講演を聞くと何となく、

たにもたくさんあった。話の中につらい思いや、その苦勞が伝わってきました

た。特に「備え」というのに終わりは無いんだなとすっごく心に響きました。

やれるだけの事をやっても、それをこえてくるのが自然災害というものだから、

災害がおこった時に、また改善や、対策をする必要があると思いました。

「いつ災害か」といつどこでいついかなる時におこるか、は分からないけど、友人や家族としっかり

決める事はして、災害が来ても、できるだけ少しの被害におさえたいです。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

地震は本当におそろしいものなんだとあらためて感じる事が

できました。小さい子やおとしよりの方などが亡くさんの被害に

合ったのだと思うと本当にかたしななと思いました。地震はいつおこるの

かわからないからそのゆえがある人達と思いました。映像を見た時

にはじめてもリアルで当時のことばかり云々してきました。今、ごはんを

食べる事ができるおぼろしい人達を思っていることはすこしいこと

なんだと感じました。いつおこるかかわからないので日頃から対策しようと思いました。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

阪神淡路大震災がおきたときの神戸新聞社のしたことを聞いて、たくさんの人
のためにすぐ動けることがすごいなと思いました。自分も人のためにすぐ
動けるすごい人になりたいと思いました。阪神淡路大震災のときの状態も
教えてください。たのび必ずおきる南海トラフに向けて、避難所の場所が
家の危険な場所を地震に向けて対策しようと思いました。講演会で学ん
だことを地震のときだけでなく、ふだんの暮らしにもいかして、きたいと思っ
ます。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

今までも地震がとても恐ろしいことは分かっていたけど、今回の話を聞いて、もっと

恐ろしいなと思いました。たとえ、地震がおきる確率が80%でも1%でも、

備えが大切だということを知り、家に帰って、備えようと思いました。自分の身だ

けじゃなく、家族の身も守りたいので、家族みんなで備えをしようと思います。

私たちが生きている内に、南海トラフ巨大地震は絶対起きると聞いて、

とても怖くなりました。どうやったら、南海トラフ巨大地震が起きても安全に

避難できるか考えてみて、やっぱり備えることが大切だと思います。あと、

次の世代に、地震のことについて、伝えて繋げていくことも大切だと思います！

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番. 名前 ()

自分は、今日の講演会を聞いて、神戸新聞が地震の時に、京都新聞と協力し、新聞を出していたことを初めて知りました。それぐさい神戸の人々に安心さなどを伝えたかったのだなと思いました。命の重大さや、地震の怖さ、を知ることが、たなと思いました。自分はここまで大きな地震にあつたことがないため、おそろしさを知ることが、今日の講演会を通して、準備しておくこと、家族との相談をし、外へ行くことが大事なことだと、学ぶことができて良かったです。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組 番 名前 ()

今日のこの講演会では今まで知らなかった新たなことをたくさん学ぶことができました。

講師の先生の実際の体験談などを聞くと地震などの災害を怖くなりました。阪神淡路

大震災がおきたのは昔の話で、身近なものだとは思っていませんでした。でも話を聞いて

南海トラフなどは自分たちが生きている間に糸色村におきるものだと分かりました。

地震など、自分の地域では起きないだろうと思っていたけれども、話を聞いて備えられる

だけ備えたいと思いました。今日の講演会で一番心に残ったのは「語り継ぐ」という話です。これから

南海トラフが来るといわれている今、阪神淡路大震災を知っている私たちがその教訓を生かして防災

できたらいいと思いました。また、地震はいつ来るのか分からないので二度と会うことができないかもしれないと

思い家族や友達に優しく、後悔がないようにしたいと思いました。震災を経験していない私たちは知っていることは少ないけれども、神戸に生まれ育ったからには他人事とせめて、いつか自分の身にもくるとして、防災について考えると思いました。また、その考えも他の県や世界へ発信し、呼びかけることのできるのなら、助けられる命が増えたり、火事など防げる災害もあるのではないかと思います。だからこそ、まず自分の身は

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組 番 名前 ()

今日の講演を聞いて震災に備える大切さがよく分かりました。震災はいつ起こる
か分からないからいつまでも大丈夫のように備えておこうと思いました。具体的には
まず、震災の知識(今までの震災のきぼとか)を身につけて防災リュックをつくり
家の中にある家具などを固定して自分の命、そして家族の命を守るようにしたい
です。そして、「阪神淡路大震災」のことを自分は体験していないけど、体験
した人の記おくをまた次の世代へつなぐということが大切だと分かったの
で阪神淡路大震災のことを知っている人がいなくならないように記お
くを「つなぐ」ことが私にできることだと思いました。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組 番 名前 ()

今回の講演会を通して、阪神淡路大震災の記憶を忘れない・そして次につなげると

いうことを学びました。阪神淡路大震災は自分に関係のない他人事だと思っていけれど、今日のこの

授業を通して、命の大切さ、そして大切な人を失った気持ち、忘れないでほしいということを学ば

ることができました。また、そのことを次の世代へとつなげてい、7分6秒もかかるといえるようなでき事にし、阪神淡

路大震災の教訓を生かし、南海トラフに備えて自分の身は自分で守れるようにしていきて

いよう。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組 番 名前()

映画のワンシーンを見たとき、とても怖くて、震災の
おそろしさを改めて知った、講演会で改めて知れた
こと、初めて知ったことなどがたくさんあって、とても
ためになったと思、た。そして今度は僕たちのような
若者が震災のおそろしさを語りついでいく必要が
あると思、た、人間は体が死んだときと人に忘れられたときの2回
の死があるとい、ていたけど、伝えることで2回目の死を減
らすことができればいいなと思、た、

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

今回の講演会で地震から自分や家族、友達を守る方法がよく分かりました。集合場所を決めておく。

日頃から備えをするなどどれも小さなことだけどその積み重ねが命を守ることに繋がるからこぎ。

これからは小さな積み重ねを忘れずしていくことを心がけたいと思いました。淡路島では死者が4

人で4人だけだと思っていましたが命に大小はなく、1つ下も失われているということを改めて思い知りました。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 ()

私は、災害は怖いものだとは思っているけどそれを実際に体験し、それが
亡くなった人もいるということをおぼえてはあげないと思った。そして「怖い」と言う(思う)だ
けだったなら何も変わらないから、その思いながら防災・減災のために取り組ま
なければならぬと思った。また、今月の18日に「Pray From Kobe」という阪神
淡路大震災のための場があるから、そこで家族や知人・友人を失った人、亡
くなってしまった人をおもひ歌ったことより感じる事が出来た。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

今回の話を聞き、災害への備えはとても大切で、日頃から心がけておくことが大切なのだ

なあと改めて感じました。なので私もこれからハザードマップを見ておいたり、避難所での食料や

水、かい中電灯などを用意しておいたり、家族とはなれているときに会えるように待ち合わせ場所

を確認したりして自分や周りの人の命を守る行動をしていきたいと思いました。今生きて

いるこの空間はとてもかけがえのないものだと思いました。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組 番 名前 ()

私は今回の講演会を通して 震災はいつ来てもおかしくないもの
だ。来たときの備えが大事だとあらためて感じた。30年で忘れるので
はなく、私たちが知って伝えることで忘れることなく、未来に繋げる
ことが出来るので家族や親せきにも私が知っていることを伝えて
おこうと思った。私の家に防災バックはあるがロッカーの上に置
いてあるのでいざどうしたら高^い場所のものを取り出して^いるので、低^いところ
で取りやすい場所に置いておこうと思った。11月での震災を忘れることなく伝
えておこうと思った。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

実際に地震を体験した方の当時の状況を聞き、よりいっそう地震のおそろしさか、備えの大切さを

感じることをできました。100%の可能性であれば、安心するのではなく、危機感とモロ必要が

あると、知ることかできました。地震などの災害が起った際、情報をすばに入れる数少ない手段である

新聞が、どのようにつくられているのかの話と聞き、新聞局の入り口の広さを感しました。普段なかなか

当時地震を体験した方の話を聞く機会はないので、今日の三好さんの話はとても貴重で

ありがたかたにひます。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 ()

阪神東おじ 大震災が、どれほどおそろしくて、どれだけの命を
うばっていったのか、知ることができました。30年以内に起こる
かのちいさかよると言われていた南海トラフ地震に対する
防災を進めていきたいと思った。現時点でも簡易トイレとか、
レジャーシートを売っているけれど、いざ地震が起きた
ときにすぐ回収してはくさるかといった点については、
家庭科の勉強も合わせて、防災グッズなどの対策を家族と
考えていけたら良いなと思いました。あと、新聞紙スリッパの作り方を
家族に教えておこうと思いました。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

震災の講演会を聞いて伝えていくことの大切さと、そなえることの大切さを知った。おごと大きな震災で、忘れてはならないけれど、伝えていかないと大変だったことや、震災の危険さはだんだんと忘れられてしまうから伝えていくことは大切なんだと知った。大きな震災があったからこそ、次の震災にそなえることができるので、阪神淡路大震災での話や他の震災での話をもとにそなえることが大切だと知りました。

阪神淡路大震災講演会感想

1年 組

番 名前 (

)

震災当時私は生まれていなかったのど、どこか遠いところの

ようにかんでいたけれど、今回の演会をうけて、自分には関係ないと

線引きしてはいたなと思った。

案外に被災者の方のお話をきいて、この機会を無駄にせず、

学んで備えておくことが大切だと思った。

地震はいつ、どこで起こるかわからないからこそ、正しい知識を

身につけて、たいふうでまらようにしたい。

風化させずに、伝えておくことが重要だと思った。